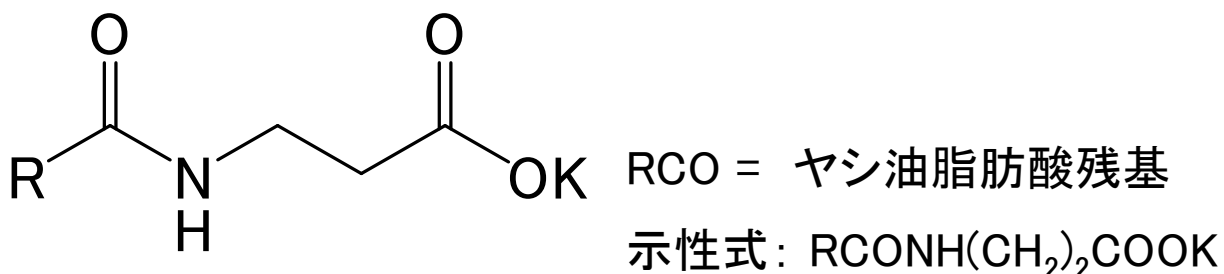


新規陰イオン界面活性剤

アラノン[®] CBK

アラノン[®] CBKの製品概要と特長

アラノン[®] CBKは β アラニン骨格の陰イオン界面活性剤です。



- 弱アルカリ領域において、高界面活性能及び泡立ちが得られるため、**弱酸性から弱アルカリ性**の幅広い領域で配合が可能です。
- 洗い上がりに**さっぱり感**を付与するので**スキンケア洗浄料**としてご使用できます。
- **カルシウム塩の生成**が容易です。
- **アミノ酸型界面活性剤の処方系ではさっぱり感を付与し、脂肪酸の処方系ではツツパリ感を軽減**します。

製品規格

性状	無色～淡黄色の液～固体で、 わずかに特異なおいがある
pH(3wt%)	8.0～9.0
含量(%)	25.0～28.0
APHA	300以下

製品情報

製品名	アラノン® CBK
表示名称	ココイル-β-アラニンK, 水
INCI名	Potassium Cocoyl Beta-Alaninate, Water
荷姿	18kg C/N (200kg D/M)
含量(%)	25%
備考	常温で析出するので加温してからご使用ください。

川研ファインケミカル株式会社 ライフ事業部

本 社 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-3-3(堀留中央ビル)

TEL.03-3663-9521 FAX.03-3661-5630

大阪営業所 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-2-6(阪本ビル)

TEL.06-6201-1631 FAX.06-6227-0755

URL : <https://www.kawakenfc.co.jp>

サンプル お問い合わせ先 ライフ事業部
カタログダウンロード



KAWAKEN

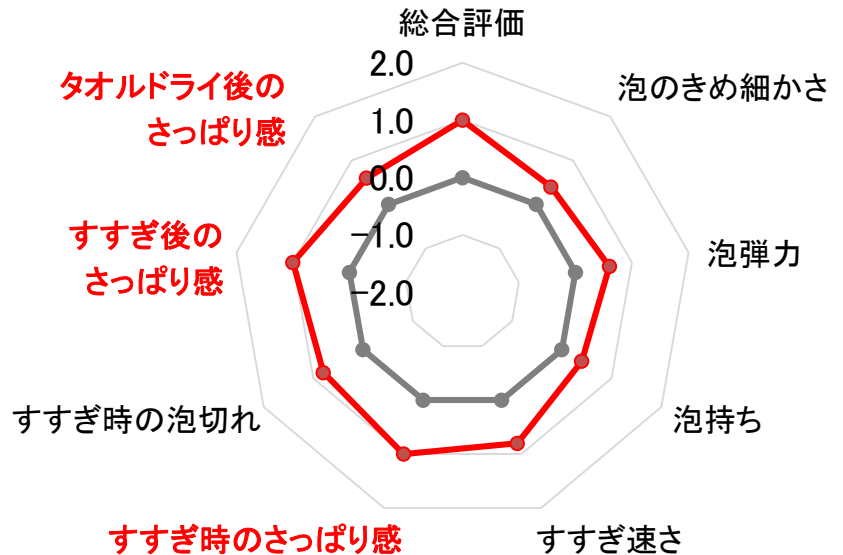
2023-05-1000

モデル処方・官能評価

アミノ酸型界面活性剤系ボディソープ泡タイプ

配合成分名	純分(%)	
	未配合	配合
アラノン [®] ALE	8.0	4.0
アラノン [®] CBK	—	4.0
ソフタゾリン [®] LHL-SF	4.0	4.0
アミゼット [®] 1PC	1.5	1.5
グリセリン	10.0	10.0
防腐剤	適量	適量
香料	適量	適量
精製水	to 100	
pH(原液)	7.5	7.5

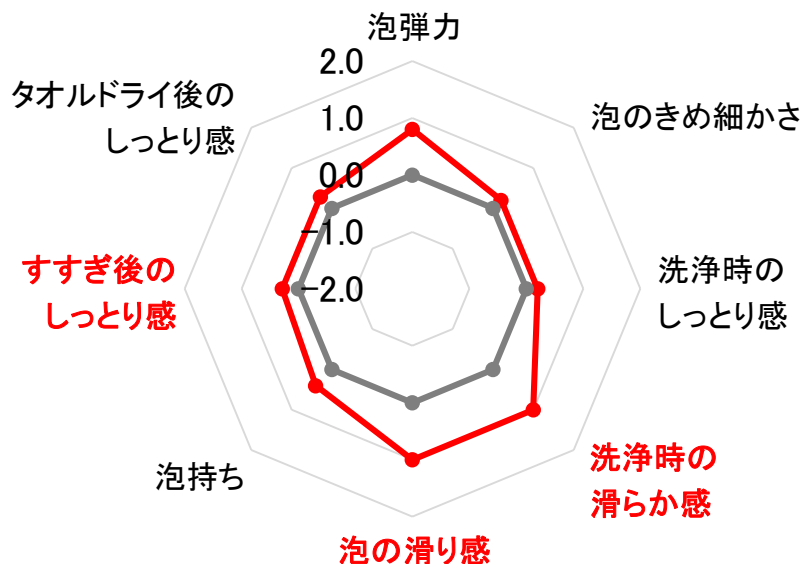
—: アラノン[®] CBK配合処方
 —: アラノン[®] CBK未配合処方
 n = 5



脂肪酸系ボディソープ液体タイプ

配合成分名	純分(%)	
	未配合	配合
アラノン [®] CBK	—	4.0
ラウリン酸	4.0	4.0
ミリスチン酸	5.0	5.0
パルミチン酸	5.0	5.0
ソフタゾリン [®] LHL-SF	2.0	2.0
コカミドMEA	0.3	0.3
グアーヒドロキシプロピルトリモニウムクロリド	2.0	2.0
ジステアリン酸グリコール	1.0	1.0
水酸化カリウム	適量	適量
防腐剤	適量	適量
香料	適量	適量
精製水	to 100	
pH(5%)	9.3~9.5	9.3~9.5

—: アラノン[®] CBK配合処方
 —: アラノン[®] CBK未配合処方
 n = 5



アミノ酸界面活性剤の処方系ではさっぱり感を付与し、
 脂肪酸の処方系ではツッパリ感を軽減します

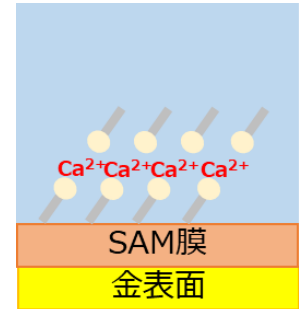
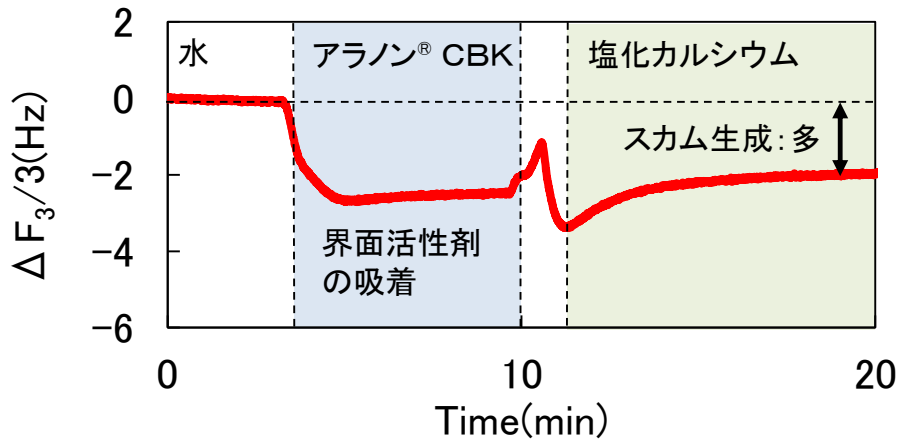
スカムの生成リアルタイム観察【QCM-D】

【測定方法】

ヒト皮膚の疎水性を模倣した膜(SAM膜)上でリアルタイム観察

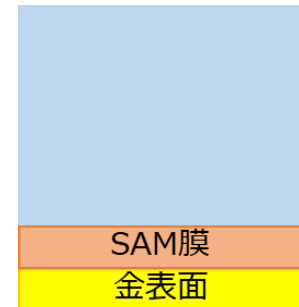
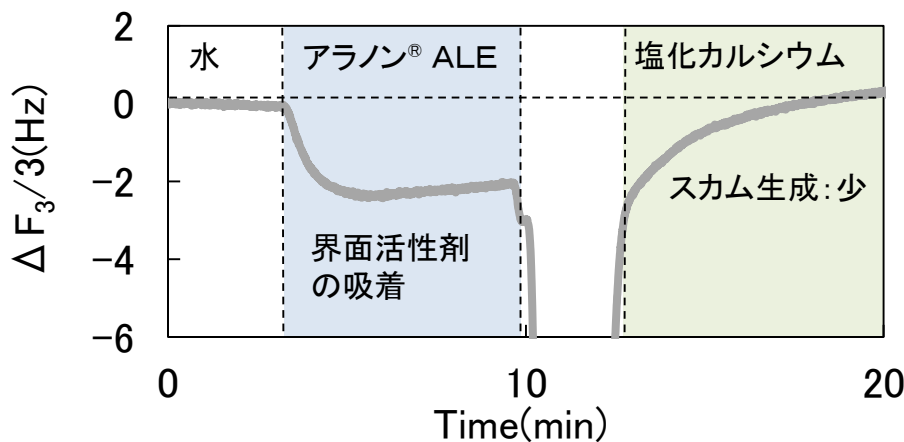
NaCl水溶液から各種界面活性剤(0.2%、pH9.5)に置換し、同濃度のCaCl₂水溶液を置換させスカムを生成

アラノン[®] CBK (RCONH(CH₂)₂COOK)



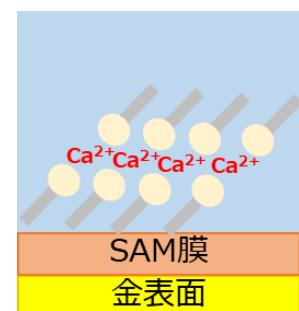
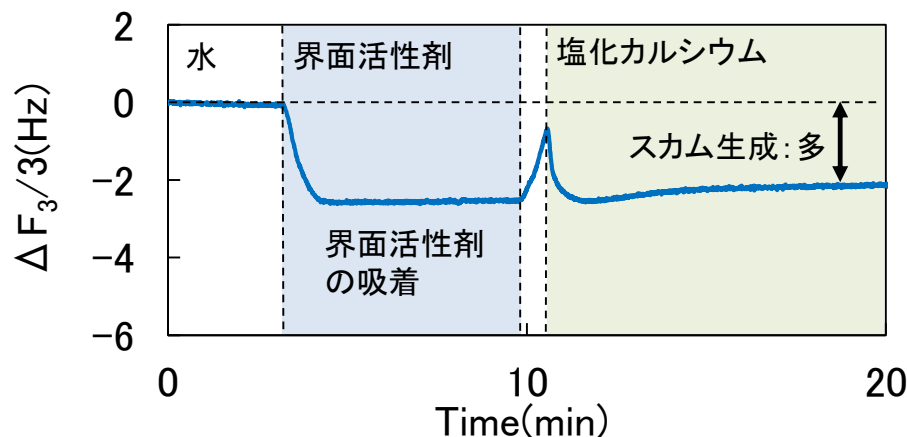
アラノン[®] CBKは細かいスカムを生成し、疎水性基盤に吸着します

アラノン[®] ALE (C₁₁H₂₃CONCH₃(CH₂)₂COONa)



アラノン[®] ALEはスカムを僅かに生成し、また沈降しないほど小さいスカムです

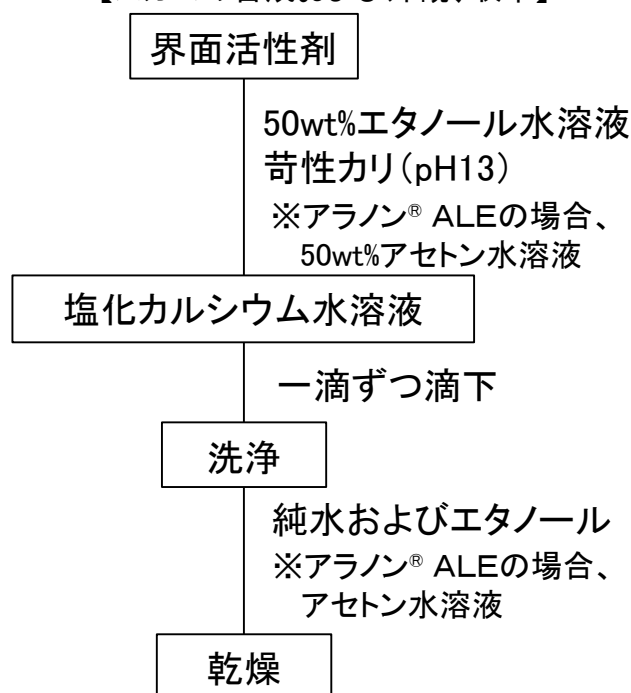
類似アミノ酸型界面活性剤 (RCONHCH₂COOK)



アラノン[®] CBKと同程度のスカムを生成しますが、サイズが大きく沈降します

アラノン® CBKを配合するとなぜさっぱりするのか

【スカムの合成および外観、収率】



アラノン® CBKのスカムの外観

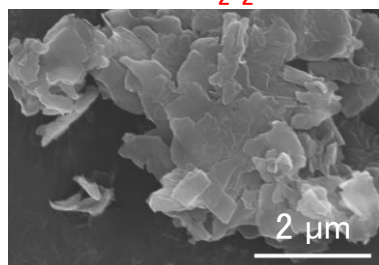


収率

$\text{RCONH}(\text{CH}_2)_2\text{COOK}$: < 90%
 $\text{C}_{11}\text{H}_{23}\text{CONCH}_3(\text{CH}_2)_2\text{COONa}$: 70%
 $\text{RCONHCH}_2\text{COOK}$: < 90%

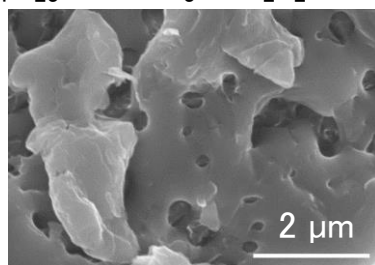
【スカムの走査型電子顕微鏡(SEM画像)および融点、摩擦の測定】

$\text{RCONH}(\text{CH}_2)_2\text{COOK}$



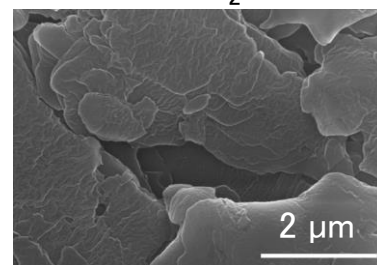
形状: 板状
 サイズ: 数マイクロメートル
 融点: 150~170℃

$\text{C}_{11}\text{H}_{23}\text{CONCH}_3(\text{CH}_2)_2\text{COONa}$



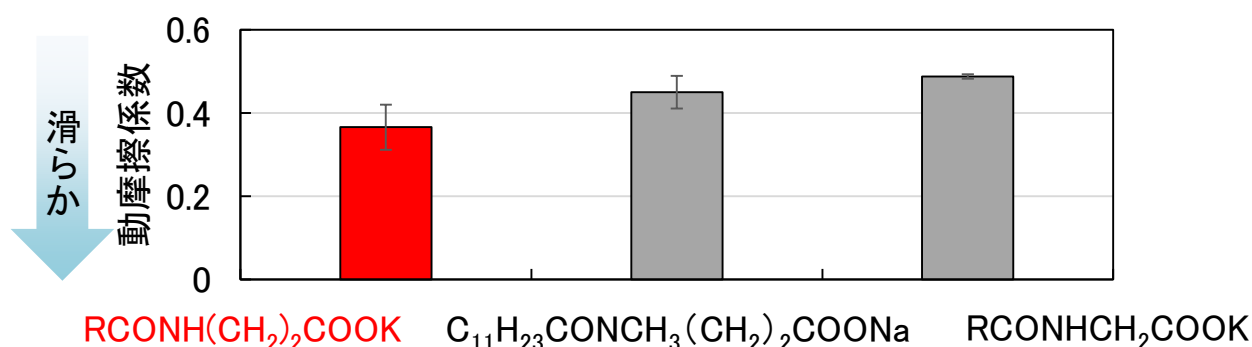
形状: 凝集した板状
 サイズ: 不明
 融点: 90~110℃

$\text{RCONHCH}_2\text{COOK}$



形状: 板状
 サイズ: 数十マイクロメートル
 融点: 190~210℃

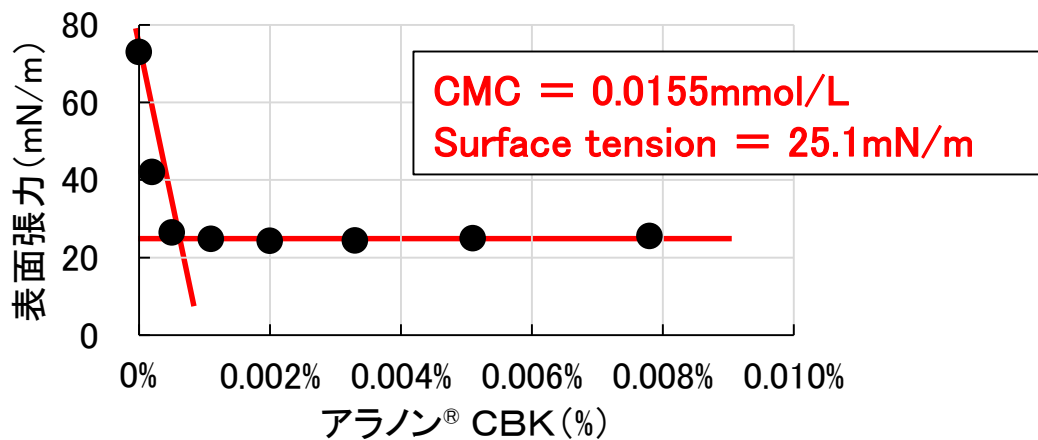
人工皮膚上にスカム(0.05g)塗布し、指紋付きの指モデルで擦った(静・動摩擦測定機TL201Tt)
 測定条件: 10mm/s、20g、20mm



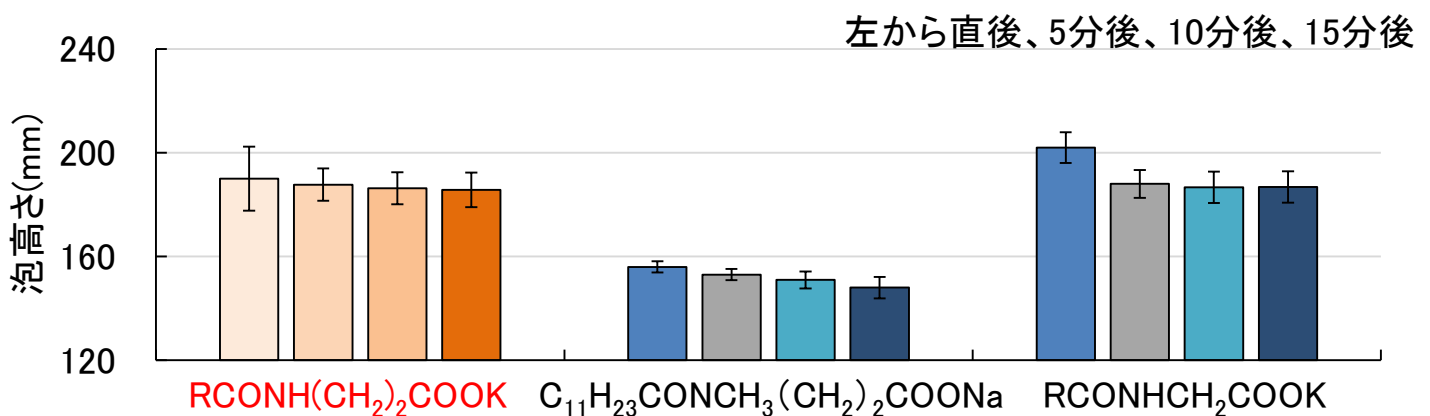
アラノン® CBKは洗浄時において、安定してスカムが皮膚表面に吸着します
 ➡ 板状のスカムであり潤滑特性も高く、さっぱり感を発現させます

アラノン® CBKの基本物性

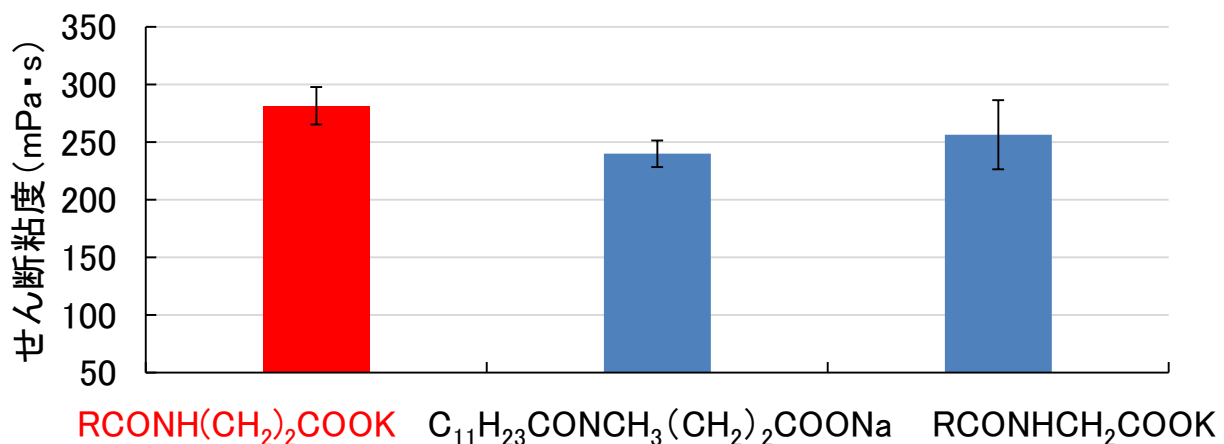
臨界ミセル濃度(CMC)と表面張力(表面張力濃度曲線、25°C、pH9.0)



弱アルカリ性領域における起泡力(ロス・マイルス試験、0.25%、25°C、pH9.0)



弱アルカリ性領域における泡弾力(レオメーター、2%、pH9.0)



アラノン® CBKは弱アルカリ領域においても、
高い界面活性、良好な泡立ち、泡弾力があるなど高性能な基剤です